



小松社長

独自性で光る少額短期保険

2006年4月の保険業法改正に伴って誕生した「少額短期保険」の事業者は、着実に増えて約100団体になっている。この間、資本関係による社名変更や事業内容の拡大・改変、新分野に着目した保険の誕生も注目されてきた。グループの強みを生かして着実に成長する会社やNPO法人として唯一少額短期保険を提供する団体など、独自性を發揮する少額短期保険の最新事情を取材した。

さくら少額短期保険

光通信グループの強み生かす

光通信グループのさくら少額短期保険は、通信端末修理費用補償保険「モバイル保険」と、無告知型女性特有疾病一時金保険「なでしこ保険」を2本柱に事業展開する。2016年5月に販売を開始したモバイル保険が、現在、約15万件と飛躍的に伸展。ニュートン・ファイナンシャル・コンサルティング(NFC)と共に開発し16年12月に発売した「なでしこ保険」も、16年度末12000件から17年度末4000件と好調だ。同社では、「特に、スマホは国内で約1億台利用されており、モバイル保険の市場は大きい」としており、「通信事業グループの強みを生かして、今年度はモバイル保険の保有30万件を目指す」方針だ。

モバイル保険

モバイル保険のポイントは、「修理費用の補償」「幅広い端末を補償」「キャッシュレス修理も可能」の三つの点だ。外装破損、損壊、水濡れ、故障による修理費用を補償し、修理できなか

た日常生活で使用中のモバイル保険が可能な機器を最大3台まで補償し、契約中に機器の入れ替えをしても補償が継続する。

さらに、提携する修理店で修理した場合には、マイページ画面から手続きして提携修理店に持参すれば無料で修理してもら

った場合や盗難の際にも同保険を利用できる。また日常生活で使用中の

Cracked」(アイ

クラックト)は、スマホ修理をアメリカ、イギリス、ドイツで展開して15年12月に日本に上陸。東京の渋谷店を皮切りに、現在では国内で20店になつていて。

スマホのトラブルで最も多いのが、画面の破損だが、迅速な修理や高額な修理費用が大きな課題になつており、同保険は

ん、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん、子宮平滑筋腫、子宮内膜症、卵巣のう腫・子宮内膜症)の場合は、2倍の金額が支払われる。保険料は年齢に関係なく一律で、月払い400円、年払いなら4000円となる。

なでしこ保険は、「女性特有的七つの病気を保障」医師の診査や告知が不要」「保険料は全年齢共通」といった特徴がある。告知なしで簡単に加入でき、医療保険やがん保険の上乗せ保険として利用されている。

この保険から顧客との関係が始まることが多い」とされており、募集人にとっては、さらに別

に、少額準備会社のリロコ・グループが保有する

代理店向けに開発したもので、「低廉な保険料で気軽に加入する保険」として、好評を得ている。

同社は、福利厚生制度の外部委託業者であるリロ・グループが保有する

市場(主に中小法人)の

用慰金制度の充実を目的

に、少額準備会社のリロコ・グループが保有する

保険を低価格で提供す

る」という基本スタンス

で取り組んできた。通信事業会社のグループとし

て、モバイル保険の今後は明るいグループで

保険を低価格で提供す

る」という基本スタンス

で取り組んできた。通信事業会社のグループとし

て、モバイル保険の今後は明るいグループで